

2023年度 決算ダイジェスト

(2023.4.1 – 2024.3.31)



いよぎんホールディングス

2024.5.10

連結損益状況

高水準の連結コア業務粗利益の確保、有価証券関係損益の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益を計上いたしました。

持株連結（単位：百万円）	2023年度			2022年度
	前年度比	増減率		
A. 連結コア業務粗利益	98,729	+9,170	+10.2%	89,559
資金利益	82,945	+7,610		75,335
役務取引等利益	10,576	+892		9,684
その他業務利益 （除く国債等債券関係損益）	5,208	+669		4,539
B. 経費（△）	55,196	+2,529	+4.8%	52,667
人件費	29,969	+641		29,328
物件費	22,124	+1,767		20,357
税金	3,101	+119		2,982
連結コア業務純益	43,533	+6,642	+18.0%	36,891
C. 信用コスト（△）①+②-③-④	2,785	+5,383		△2,598
一般貸倒引当金繰入額①	△3,446	△3,446		-
不良債権処理額②	6,606	+5,532		1,074
貸倒引当金戻入益③	-	△656		656
償却債権取立益④	374	△2,642		3,016
D. 有価証券関係損益	14,952	+14,989		△37
国債等債券関係損益	9,575	+6,690		2,885
株式等関係損益	5,376	+8,299		△2,923
その他の臨時損益	2,879	△84		2,963
経常利益	58,579	+16,164	+38.1%	42,415
特別損益	△510	+1,407		△1,917
税引前当期純利益	58,069	+17,572		40,497
当期純利益	39,438	+11,112	+39.2%	28,326
E. 親会社株主に帰属する当期純利益	39,464	+11,565	+41.5%	27,899
経常収益	192,758	+19,804	+11.5%	172,954
連結業務純益	56,555	+16,778	+42.2%	39,777

A. 連結コア業務粗利益 前年度比 +9,170百万円

- ✓ 貸出金残高の増強による貸出金運用益の増加、ファンド解約損益の改善等による有価証券運用益の増加を主因として、資金利益が増加
- ✓ グループ一体での法人コンサルティング収益、預り資産収益の増加により、役務取引等利益が増加

B. 経費（△） 前年度比 +2,529百万円

- ✓ 戦略投資の増加により減価償却費、事務委託費等の物件費が増加した他、ベアの実施等により、人件費が増加

C. 信用コスト（△） 前年度比 +5,383百万円

- ✓ 引当率の上昇等により、一般貸倒引当金繰入額の戻入が減少
- ✓ 倒産等の増加により、不良債権処理額が増加

D. 有価証券関係損益 前年度比 +14,989百万円

- ✓ 相場動向を捉えた外債等の売却益計上により、国債等債券関係損益が増加
- ✓ 政策保有株式の売却益増加、株式等償却の減少により、株式等関係損益が増加

E. 親会社株主に帰属する 当期純利益 前年度比 +11,565百万円

参考：信用コスト内訳	2023年度	2022年度	前年度比
信用コスト（△）①+②-③	2,785	△2,598	+5,383
①一般貸倒引当金繰入額	△3,446	△4,689	+1,243
②不良債権処理額	6,606	5,107	+1,499
（うち個別貸倒引当金繰入額）	5,638	4,032	+1,606
③償却債権取立益	374	3,016	△2,642

（注）2022年度は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額を、貸倒引当金戻入益に計上している。

伊予銀行単体損益状況、預貸金・預り資産の状況

損益状況【伊予銀行単体】

- コア業務粗利益の増加、有価証券関係損益の増加を主因として当期純利益は増益となり、過去最高益を計上しております。

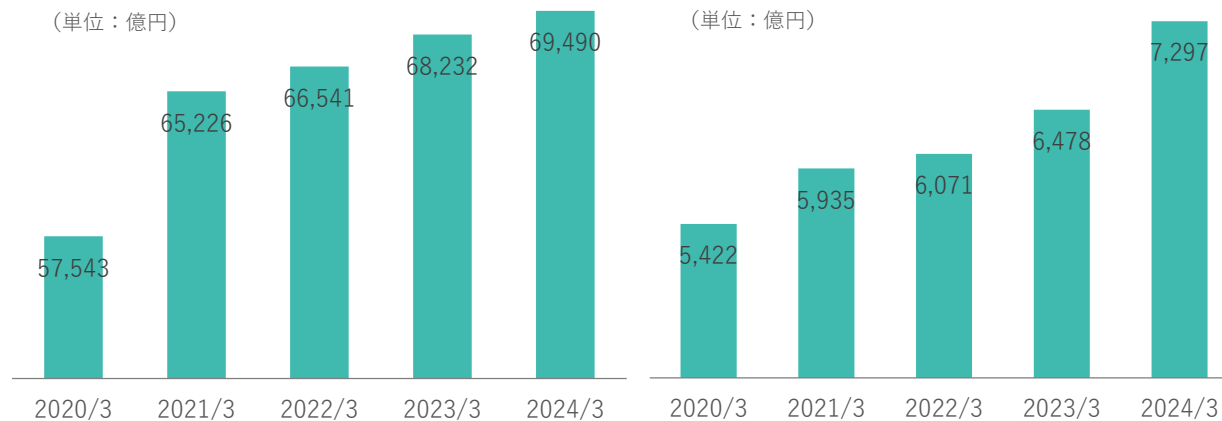
伊予銀行単体（単位：百万円）	2023年度			2022年度
		前年度比	増減率	
コア業務粗利益	92,867	+8,761	+10.4%	84,106
資金利益	82,766	+7,699		75,067
役務取引等利益	6,634	+169		6,465
その他業務利益 （除く国債等債券関係損益）	3,466	+893		2,573
経費（△）	52,720	+2,410	+4.8%	50,310
人件費	24,987	△135		25,122
物件費	24,705	+2,417		22,288
税金	3,028	+130		2,898
コア業務純益	40,146	+6,351	+18.8%	33,795
信用コスト（△）①+②-③-④	2,296	+5,118		△2,822
一般貸倒引当金繰入額①	△3,518	△3,518		-
不良債権処理額②	6,188	+5,383		805
貸倒引当金戻入益③	-	△612		612
償却債権取立益④	373	△2,641		3,014
有価証券関係損益	15,052	+15,548		△496
国債等債券関係損益	9,575	+6,690		2,885
株式等関係損益	5,477	+8,859		△3,382
その他の臨時損益	3,238	+66		3,172
経常利益	56,141	+16,848	+42.9%	39,293
特別損益	△505	+1,263		△1,768
税引前当期純利益	55,635	+18,111		37,524
当期純利益	37,867	+11,542	+43.8%	26,325
経常収益	172,917	+19,295	+12.6%	153,622
業務純益	53,241	+16,560	+45.1%	36,681

預貸金・預り資産の状況

- 預金等残高は前年度末比1,258億円増加して6兆9,490億円、貸出金残高は前年度末比3,414億円増加して5兆6,674億円となりました。
- 預貸金共に堅調な増加が続いており、預貸金残高は27年連続で増加しております。

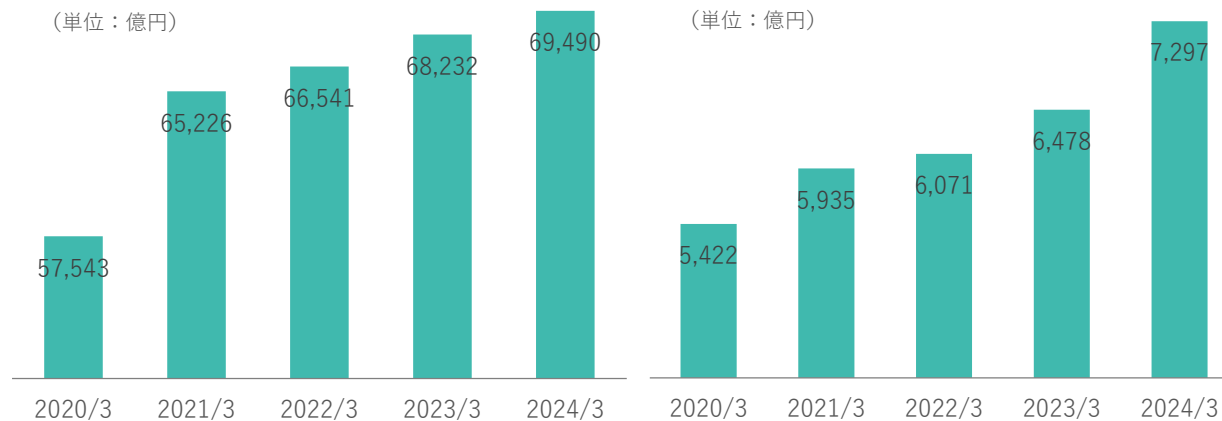
◆ 預金等残高【伊予銀行単体】

（単位：億円）



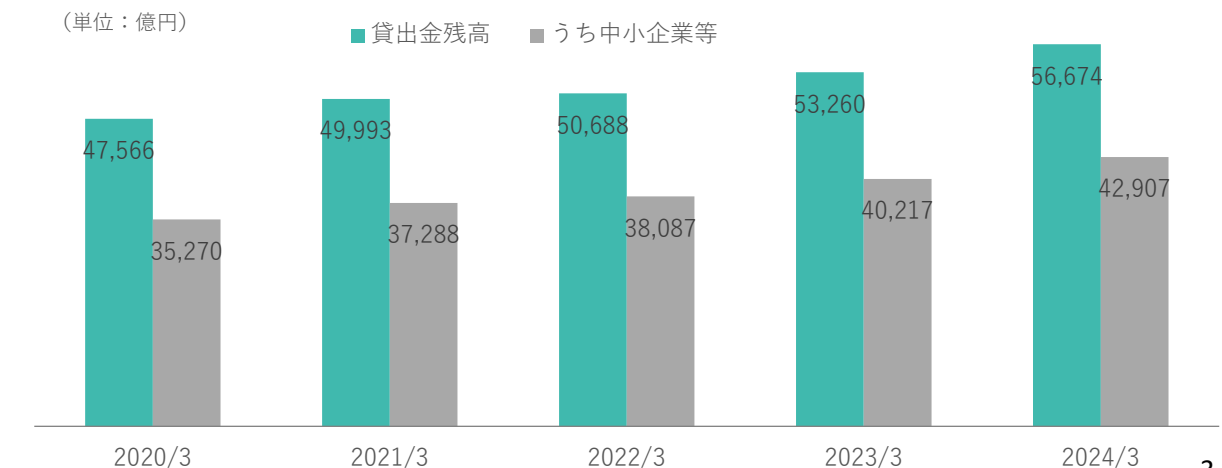
◆ 預り資産残高【連結】

（単位：億円）



◆ 貸出金残高【伊予銀行単体】

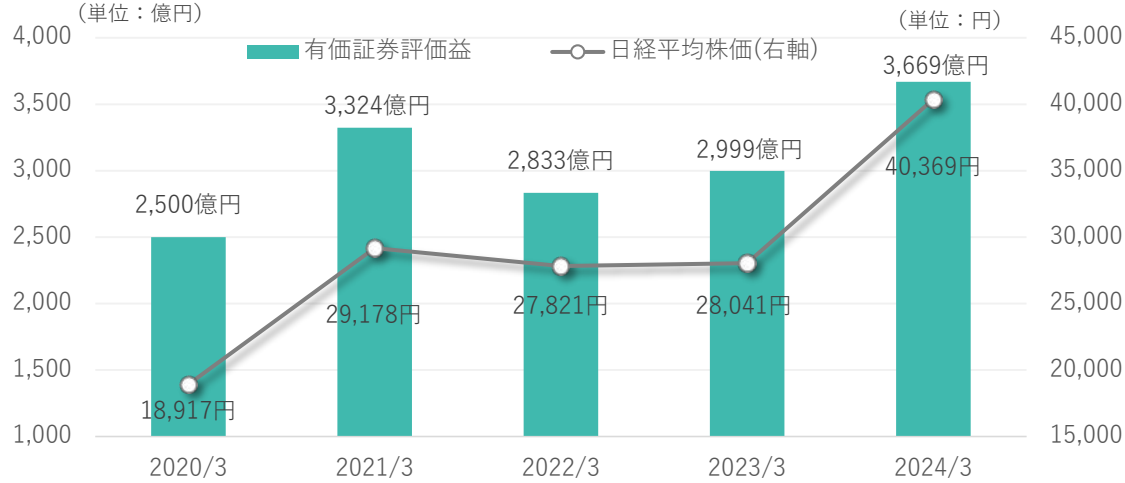
（単位：億円）



有価証券評価益及び自己資本比率、開示不良債権の状況

有価証券評価益【連結】

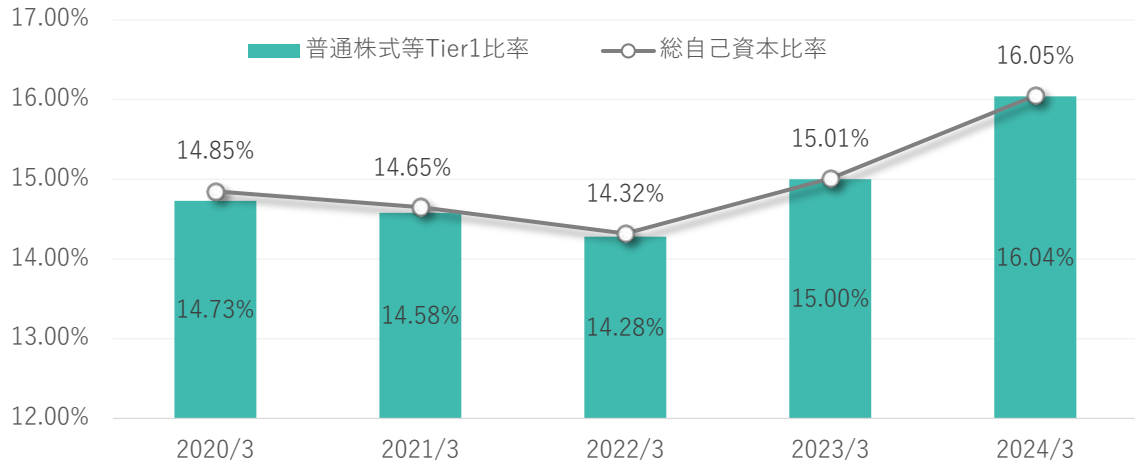
- 有価証券評価益は3,669億円と地銀トップクラスの水準を確保しております。



(注) 金銭の信託に係る評価損益を除く。

自己資本比率の推移 (バーゼルIII基準)【連結】

- バーゼルIII基準(国際統一基準)による連結総自己資本比率は16.05%であり、所要自己資本比率を余裕をもってクリアしております。

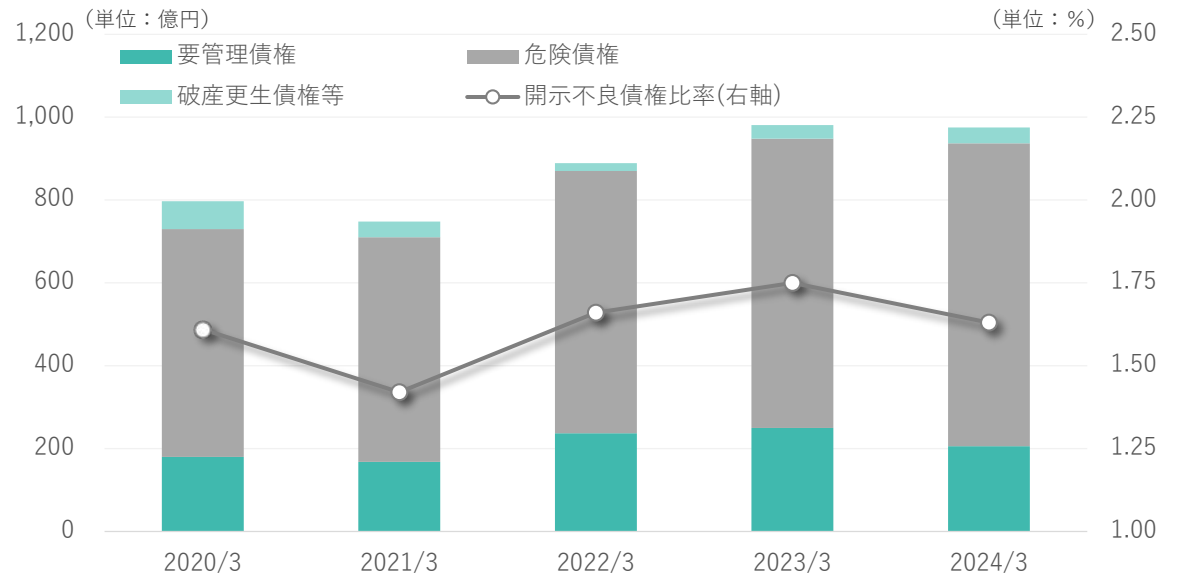


金融再生法開示基準による不良債権額・比率推移【連結】

- 金融再生法開示基準による不良債権比率は1.63%となり、低水準の倒産・ランクダウンを背景に、引き続き低水準を維持しております。

(単位：億円)

	2023/3	2024/3	前年度比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33	38	+5
危険債権	698	731	+33
要管理債権	250	206	△44
三月以上延滞債権	26	23	△3
貸出条件緩和債権	224	182	△42
開示不良債権合計	982	976	△6
正常債権	55,048	58,767	+3,719
合計	56,030	59,743	+3,713
開示不良債権比率	1.75%	1.63%	△0.12%



業績及び配当予想

■ 有価証券関係損益の減少を主因として減益を見込むものの、親会社株主に帰属する当期純利益は320億円と引き続き高水準を見込んでおります。

■ 2024年度の1株当たりの配当金は年間40円(中間配当20円、期末配当20円)を予定すると共に、総額50億円の自己株式取得を予定しております。

持株連結（単位：億円）	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	中間期実績	2023年度 実績	2024年度		前年度比	
							中間期予想	前年同期比		
連結コア業務粗利益	828	866	904	895	507	987	515	+8	1,020	+33
うち資金利益	663	716	726	753	414	829	425	+11	855	+26
うち非資金利益	164	150	177	142	93	157	90	△3	165	+8
経費（△）	525	521	516	526	272	551	295	+23	580	+29
連結コア業務純益	303	345	388	368	235	435	220	△15	440	+5
信用コスト（△）	73	133	43	△25	15	27	20	+5	55	+28
有価証券関係損益	34	36	11	△0	135	149	5	△130	45	△104
経常利益	294	261	382	424	374	585	225	△149	460	△125
親会社株主に帰属する当期純利益	189	180	264	278	247	394	155	△92	320	△74
1株当たり配当金	14円	14円	16円	17円	10円	30円	20円	+10円	40円	+10円

【参考】 自己株式取得実績・見込 2022年5月～7月：総額30億円、2023年2月～4月：総額40億円、2023年11月～2024年1月：総額43億円、2024年度上期：総額50億円（予定）

参考：伊予銀行単体（単位：億円）	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	中間期実績	2023年度 実績	2024年度		前年度比	
							中間期予想	前年同期比		
コア業務粗利益	767	805	845	841	480	928	485	+5	955	+27
経費（△）	499	496	490	503	260	527	280	+20	550	+23
コア業務純益	268	309	354	337	220	401	205	△15	405	+4
経常利益	265	237	352	392	362	561	210	△152	435	△126
当期純利益	185	166	246	263	240	378	150	△90	305	△73

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の経営環境の変化等の様々な要因によって変動する可能性があります。